

理学療法室

Plan 計画

- 1 がんそのものによる障害やがんの治療(手術, 化学療法, 放射線療法等)の過程において起こりうる障害に対して, 二次的障害の予防、機能や生活能力の維持・改善を目指す。
- 2 リハビリテーション科医師・看護師・療法士・担当医師・病棟看護師等と目標やリハビリテーションの評価内容・実施状況を共有し, ADL 動作の改善を目指す。

Do 実行

1. リハビリテーション評価を行い、がんの病期や治療内容等に応じた目標設定を行う。
2. がん治療前は、呼吸機能や身体機能、ADL等の評価に基づいた自主練習方法や生活動作等の獲得に向けた介入を行う。
3. がん治療後に再評価を行い、早期離床等による二次的障害の予防や歩行練習等の運動能力の維持・向上、ADL練習等の介入を行う。
4. リハビリテーション科医師・看護師・療法士・担当医師・病棟看護師等と目標や身体機能・ADL動作当の評価・介入内容の情報を共有し、ADL向上に向けた介入を行う。

Action 改善

- 1 リハビリテーション介入内容や目標設定等の再検討や フィードバックを行う。
- 2 リハビリテーションカンファレンスを開催し、情報の共有を行う。
- 3 研修会等に積極的に参加する。

Check 評価

- 1 定期的に評価を行い, 身体機能や ADL 等のリハビリテーションの介入効果を検証する。
- 2 目標や身体機能・ADL 動作等の評価・介入内容の情報が共有され, 病棟でのケア等に反映されているか確認する。